

ギリシャ概況

ジェトロ海外調査部(更新日:2021年6月18日)

一般的事項	政治動向	二国間関係																																																																																	
<p>国・地域名:ギリシャ共和国 Hellenic Republic 面積:13万2,049平方キロメートル(2021年4月、出所:ギリシャ軍事地理サービス) 人口:1,071万8,565人(2020年1月1日時点、出所:ユーロスタット) 首都:アテネ(人口:304万4,000人)(2017年、出所:ギリシャ統計局) 公用語:ギリシャ語 宗教:ギリシャ正教</p>	<p>① 2015年2月、ギリシャ政府は2012年3月に欧州金融安定基金(EFSF)と国際通貨基金(IMF)から受けた総額1,300億ユーロの第2次支援の措置期限を2015年6月末まで延長するも、IMF融資の返済期限までに返済できなかった。これを受けEUは、財政支援継続の条件として、ギリシャに対し早急かつ抜本的な財政改革を要請。ギリシャは財政緊縮策に関するEU提案の受け入れ是非を国民投票にかけ、一時ギリシャのEU離脱すら囁かれる事態に発展した。最終的にギリシャ側が与野党協力の下、EUから財政支援継続を得る代わりに財政緊縮策を受け入れた。</p> <p>② 上記に伴い与党・急進左派連合(SYRIZA)からは反財政緊縮派議員が離党、政権が不安定化したことから、民意を改めて問うべく、2015年9月20日に解散総選挙を実施。結果的にツィプラス首相率いる与党SYRIZAが圧勝し、付加価値税(VAT)システムの統一、税収増加のための課税標準の拡大、年金制度改革等、抜本的な国内財政改革が具体的に進められることとなった。</p> <p>③ 2017年5月18日、ギリシャ議会は国際債権団から新たな融資を受けるための条件となっていた、年金削減や増税を含む改革法案を可決した。これは2017年7月に期限を迎える75億ユーロの債務返済の資金を確保する必要があるために決議された。</p> <p>④ 2019年5月に実施された欧州議会選挙で与党SYRIZAが敗北、これを受け、同年7月7日総選挙が行われた。SYRIZAは事前の予測通り、敗北。中道右派の新民主主義党(ND)が第一党となり、単独で議会過半数を獲得、翌8日にND党首のキリアコス・ミツォタキスが首相に就任、新内閣が誕生。</p>	<p>貿易額: (100万ドル)</p> <table border="1" data-bbox="2113 216 2751 453"> <thead> <tr> <th></th> <th>日本の輸出</th> <th>日本の輸入</th> <th>収支</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2016年</td> <td>213</td> <td>104</td> <td>109</td> </tr> <tr> <td>2017年</td> <td>240</td> <td>96</td> <td>144</td> </tr> <tr> <td>2018年</td> <td>424</td> <td>211</td> <td>212</td> </tr> <tr> <td>2019年</td> <td>568</td> <td>536</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>2020年</td> <td>243</td> <td>761</td> <td>△517</td> </tr> </tbody> </table>					日本の輸出	日本の輸入	収支	2016年	213	104	109	2017年	240	96	144	2018年	424	211	212	2019年	568	536	32	2020年	243	761	△517																																																						
	日本の輸出	日本の輸入	収支																																																																																
2016年	213	104	109																																																																																
2017年	240	96	144																																																																																
2018年	424	211	212																																																																																
2019年	568	536	32																																																																																
2020年	243	761	△517																																																																																
<p>基礎的経済指標</p> <p>名目GDP: 1,658億3,000万ユーロ(2020年、推計値、出所:IMF) 1,892億5,900万ドル(2020年、推計値、出所:IMF) 1人当たり名目GDP: 1万7,670ドル(2020年、推計値、出所:IMF)</p> <p>貿易(2020年):(出所:ユーロスタット、注:ユーロ建てをドル換算) 輸出: 351億7,000万ドル 主要品目(構成比): 鉱物性燃料(21.9%)、医薬品(9.4%)、機械類(5.6%)、アルミニウム(5.3%)、電気機器類(4.0%) 主要貿易輸出先: イタリア(10.6%)、ドイツ(7.8%)、キプロス(6.4%)、フランス(5.8%)、ブルガリア(5.0%) 輸入: 556億9,200万ドル 主要品目: 鉱物性燃料(19.9%)、機械類(8.1%)、電気機器類(6.9%)、医薬品(6.4%)、有機化学品(5.9%) 主要輸入先: ドイツ(12.4%)、イタリア(9.1%)、中国(7.7%)、オランダ(6.4%)、ロシア(6.0%) 外貨準備残高: 44億2,054万ドル(2021年4月、出所:IMF) 外国直接投資受入残高: 451億5,300万ドル(2019年末、出所:IMF) 通貨単位: ユーロ(€)、1ユーロ=1.1422ドル(2020年平均) 1ユーロ=121.85円(2020年平均)(出所:ECB)</p>	<p>経済動向</p> <p>① 2017年7月7日、6月のユーログループ財務相会合での合意を受け、EUはギリシャ政府が改革を推進してきたことを評価し、85億ユーロの融資を実施することを承認。2017年7月に約70億ユーロの国債償還を控える中で本融資が決まったことで、デフォルト(債務不履行)に陥る事態を回避した。</p> <p>② 2017年7月20日、IMFはギリシャ向けに18億ドルのスタนด์バイ取り決めに原則承認。本取り決めは一時的な国際収支の悪化に対して支援融資を行うもの。</p> <p>③ 2018年6月22日のユーログループ(ユーロ圏財務省会合)で、債務負担軽減策などで合意。8月の第3次金融支援終了でギリシャへの金融支援は終了した。</p> <p>④ 2019年12月4日のユーログループ(ユーロ圏財務相会合)では、債務救済措置による2度目の融資(767万ユーロ)を実行に移すことを決定。また、ギリシャ政府の2020年度予算案で将来的な税収増につながる税負担の軽減を通じた成長戦略が打ち出されていることや構造改革の進展を評価した。</p> <p>⑤ 2021年6月2日に欧州委員会が公表したギリシャの財政政策の進捗に関する監査報告書によると、コロナ禍で打撃を受けた観光産業が経済に占める比重が大きいため、ギリシャの2020年の経済成長率は前年比でマイナス8.2%となった。政府は経済回復と民間投資を推進すべく2021年と2022年の追加の財政措置を提示。EUから緊急時の失業リスク緩和のための一時的支援策(SURE)などを受けている雇用は、2021年には経済の再開に伴い微増と予測。</p>	<p>対日貿易の主要品目(構成比):2020年 対ギリシャ輸出: 輸送用機器(58.1%)、一般機械(18.8%)、電気機器(4.3%)、ゴム製品(2.6%)、その他の雑製品(2.3%) 対ギリシャ輸入: たばこ(52.9%)、医薬品(35.5%)、石油及び同製品(3.8%)、非鉄金属(1.6%)、果実・野菜(1.2%) 出所:財務省「貿易統計」よりジェトロ作成</p> <p>要人往来: (日本) 2001年1月 森喜朗総理大臣 2003年5月 小泉純一郎総理大臣 2014年8月 赤松広隆衆議院副議長 2017年1月 岸信夫外務副大臣 2017年12月 伊達忠一参議院議長 2018年7月 中根一幸外務副大臣 2019年6月 菌浦総理大臣補佐官</p> <p>(ギリシャ) 2005年5月 アロゴスクフィス経済・財務省(博覧会賓客) ベナキ国会議長(衆議院議長招待) 2005年11月 カラマンリス首相(実務訪問賓客) 2007年4月 リアピス運輸・通信相 2013年4月 ケファロヤニ観光相 2014年11月 ロヴェルドス教育・宗務相 2019年4月 カトゥルガロス外相 2019年10月 ピクラメノス副首相(即位礼正殿の儀参列) 2020年1月 フラゴヤニス外務副大臣 出所:外務省「各国・地域情勢」</p>																																																																																	
<p>政治体制</p> <p>政体:共和制 元首:エカテリニ・サケラロプル(Katerini N. SAKELLAROPOULOU)大統領(2020年3月就任 任期5年) 議会制度:一院制 議会: 300議席、2019年7月7日選挙実施、任期4年 政党(数字は議席数): 与党:新民主主義(ND)158 野党:急進左派連合(SYRIZA)86、変化のための運動(KINIMA ALLAGIS)22、ギリシャ共産党(KKE)15、ギリシャの解決策(ELLINKI LISI)10、MERA25 9 (2021年6月18日現在) 内閣(主要閣僚): キリアコス・ミツォタキス(Kiriakos MITSOTAKIS)首相 パナギオティス・ピクラメノス(Panagiotis PIKRMMENOS)副首相 クリストス・スタイコウラス (Christos STAIKOURAS)財務相 ニコス・デンディアス(Nikos DENDIAS)外相 ニコス・パナジオトポウロス(Nikos PANAGIOTOPOULOS)国防相 (出所:ギリシャ政府)</p>	<p>ギリシャの主要経済指標 (*前年比、%)</p> <table border="1" data-bbox="1003 1465 2089 1976"> <thead> <tr> <th></th> <th>2016年</th> <th>2017年</th> <th>2018年</th> <th>2019年</th> <th>2020年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実質GDP成長率*</td> <td>△0.5</td> <td>1.3</td> <td>1.6</td> <td>1.9</td> <td>△8.2</td> </tr> <tr> <td>個人消費*</td> <td>△0.5</td> <td>1.9</td> <td>2.3</td> <td>1.9</td> <td>△5.2</td> </tr> <tr> <td>政府消費支出*</td> <td>△0.2</td> <td>△0.1</td> <td>△4.2</td> <td>1.2</td> <td>2.7</td> </tr> <tr> <td>総固定資本形成</td> <td>2.3</td> <td>8.1</td> <td>△6.6</td> <td>△4.6</td> <td>△0.6</td> </tr> <tr> <td>輸出(財・サービス)*</td> <td>△0.4</td> <td>8.5</td> <td>9.1</td> <td>4.8</td> <td>△21.7</td> </tr> <tr> <td>輸入(財・サービス)*</td> <td>2.2</td> <td>7.4</td> <td>8.0</td> <td>3.0</td> <td>△6.8</td> </tr> <tr> <td>財政収支(対GDP比)</td> <td>△5.6</td> <td>0.5</td> <td>0.7</td> <td>1.0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>一般政府債務残高(対GDP比)</td> <td>180.8</td> <td>179.2</td> <td>186.2</td> <td>180.5</td> <td>205.6</td> </tr> <tr> <td>消費者物価上昇率(年平均)*</td> <td>0.0</td> <td>1.1</td> <td>0.8</td> <td>0.5</td> <td>△1.3</td> </tr> <tr> <td>失業率(年平均)</td> <td>23.6</td> <td>21.5</td> <td>19.3</td> <td>17.3</td> <td>16.3</td> </tr> <tr> <td>貿易収支(100万ドル)</td> <td>△1,714</td> <td>△1,656</td> <td>△3,935</td> <td>△2,008</td> <td>△12,737</td> </tr> <tr> <td>経常収支(100万ドル)</td> <td>△4,583</td> <td>△5,143</td> <td>△7,584</td> <td>△4,584</td> <td>△14,069</td> </tr> </tbody> </table> <p>出所:EU統計局(ユーロスタット)、貿易収支・経常収支のみIMF</p>						2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	実質GDP成長率*	△0.5	1.3	1.6	1.9	△8.2	個人消費*	△0.5	1.9	2.3	1.9	△5.2	政府消費支出*	△0.2	△0.1	△4.2	1.2	2.7	総固定資本形成	2.3	8.1	△6.6	△4.6	△0.6	輸出(財・サービス)*	△0.4	8.5	9.1	4.8	△21.7	輸入(財・サービス)*	2.2	7.4	8.0	3.0	△6.8	財政収支(対GDP比)	△5.6	0.5	0.7	1.0	1.5	一般政府債務残高(対GDP比)	180.8	179.2	186.2	180.5	205.6	消費者物価上昇率(年平均)*	0.0	1.1	0.8	0.5	△1.3	失業率(年平均)	23.6	21.5	19.3	17.3	16.3	貿易収支(100万ドル)	△1,714	△1,656	△3,935	△2,008	△12,737	経常収支(100万ドル)	△4,583	△5,143	△7,584	△4,584	△14,069
	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年																																																																														
実質GDP成長率*	△0.5	1.3	1.6	1.9	△8.2																																																																														
個人消費*	△0.5	1.9	2.3	1.9	△5.2																																																																														
政府消費支出*	△0.2	△0.1	△4.2	1.2	2.7																																																																														
総固定資本形成	2.3	8.1	△6.6	△4.6	△0.6																																																																														
輸出(財・サービス)*	△0.4	8.5	9.1	4.8	△21.7																																																																														
輸入(財・サービス)*	2.2	7.4	8.0	3.0	△6.8																																																																														
財政収支(対GDP比)	△5.6	0.5	0.7	1.0	1.5																																																																														
一般政府債務残高(対GDP比)	180.8	179.2	186.2	180.5	205.6																																																																														
消費者物価上昇率(年平均)*	0.0	1.1	0.8	0.5	△1.3																																																																														
失業率(年平均)	23.6	21.5	19.3	17.3	16.3																																																																														
貿易収支(100万ドル)	△1,714	△1,656	△3,935	△2,008	△12,737																																																																														
経常収支(100万ドル)	△4,583	△5,143	△7,584	△4,584	△14,069																																																																														